

## 【 熱川支所閉鎖検討に関する地区説明会 】

7月10日(水) 北川地区、7月11日(木) 大川地区、7月12日(金) 白田地区  
7月17日(水) 片瀬地区、7月18日(木) 奈良本地区 <各地区19時から>

### ●ご意見等(抜粋) \*順不同

- ・熱川地区と稲取地区の人口比率は。
- ・東伊豆町の世帯数は。
- ・熱川地区の方が人口は多いので、熱川地区が中心なのでは。支所職員3人を1人減らすとか方法があるのでは。
- ・6月末の人口でいうと、53.1%、世帯数55.7%が熱川地区である。今後どうなるかということはあるが、現在の役場よりも奈良本地区の方が安全であり、将来的には本所を奈良本に移転することは全然考えられないことではない。災害対策本部が図書館になっているので、なおさら支所の機能を残しておいた方が良いのではないか。
- ・支所職員3人を2人体制にする検討はしたか。2人では無理な時は、本所から人を派遣する等色々やり方があると思う。
- ・週に何日か開庁するとか、出張所にする等の案はないか。
- ・支所があれば便利だが、ない場合どうやってできるかを皆で考えていく。図書館職員が対応できるのか、自動交付機を熱川地区の農協に置くという考え方もある。職員3人を2人、また図書館職員と一緒にやればいいのかも等方法もあると思う。コンビニ交付は便利なので町がもっとPRすべきである。
- ・熱川支所の運営費・人件費は年間いくらか。
- ・本所の人数はどのくらいか。
- ・この5年間の職員数の推移を教えてください。
- ・証明書発行や申請受付件数が前年度より減となっているが、町全体としてはどうか。
- ・資料に本所の比率も載せてほしい。
- ・5地区説明会後の支所来庁者の統計も示してほしい。
- ・支所の利用者数がこの2年しか分からない。もう少し5年ぐらい前に遡ったデータが欲しい。
- ・受付件数をみると支所は必要があるのではないか。
- ・証明発行状況は書いてあるが、収納の金額、割合は本所と比べてどうか。支所は昨年度に比べて減となっているが本所はどうか。
- ・資料には都合の良い数字を並べているような気がするのでは、皆が納得できないのでは。
- ・車の運転ができない方もいる。コンビニの複合コピーはややこしく戸惑う。稲取まで行くのは大変。住民サービスは非常に大切である。
- ・コンビニまで行く歩道がない。
- ・公民館が中心地なので、支所閉鎖した場合には中心地にマイナンバーカードを取り扱え

- る施設を作ってもらえないか。
- ・機械操作に関しては、誰かを派遣し、高齢者には手順を説明しながら証明書を取得できるようにするのが親切である。
  - ・コンビニ交付機での発行件数は。
  - ・交付機を入れた場合の金額は。
  - ・本所に交付機を設置した方が、人件費削減になるのではないかと。  
本所でも証明が機械で出るようになれば、合理化に繋がるのではないかと。役場に設置しないで支所を閉めるのは納得がいかない。
  - ・簡単な書類発行が支所で出来たらいいと思う。
  - ・マイナンバーカード取得を推進するということだが、コンビニでの利用方法が拡大していくという考え方をしているか。どこまでコンビニや支所でできて、本所まで行かなくてもできるのか。また、今年、来年どこまでできるようになるという計画があるのか。
  - ・コンビニ交付の周知をしてほしい。
  - ・高齢者等、ここに来られない方がいかにして行政サービスを受けるかを考えなければならぬ。公共交通のこともある。コンビニ交付は、若者は簡単だが80歳以上の方には難しい。図書館である程度のサービスはできないのか。図書館に機械を置いて職員に教えてもらうことはできないか。コンビニでは自分でやらなければならない。そういうことを考えて閉鎖の方向にもって行ってほしい。
  - ・コンビニ収納状況が出ているが、コンビニ収納は若い方なのか。
  - ・コンビニ交付で誰か操作説明してくれる人がいればいいが、コンビニでは難しいのではないかと。大川も奈良本もコンビニが遠く、そこまで行くのも大変。コンビニ交付機を使うのに不安がある。それを丁寧に説明していただかないと、本当に支所を閉鎖しようという気持ちがあるのかとを感じる。
  - ・丁寧に詳細な説明をしてほしい。現在支所でできる手続き、本所でしかできない手続き、コンビニでできること、支所ではできるがコンビニではできないことは何か。取扱時間などコンビニの方が便利な面もある。コンビニでは全国どこでも証明書発行ができるらしい。
  - ・納得させる資料が少ない。実際の利用数や財政状況、このように努力しているとわかるように説明してほしい。マイナンバーカードの必要性を皆に伝えて、取得率を50%、60%にしないといけない。お金を払いに行くのはコンビニでもできるが、色々な証明書を発行するとなると色々な手順があると思う。お年寄りがわかるものでないと困るし、支所がなくなると大変。お年寄りにはコンビニは遠いし、一人では行けない。不便になるお年寄りが役場に電話をかければ迎えに行くサービス等、何か考えないと財政が厳しいからというだけでは困る。
  - ・役場（支所）が遠くなる人の住民サービスについて考えているのか。
  - ・金融機関も稲取に集中し、住民サービスが減ってきている。今後熱川地区において不便さ、負担を強いられることがないように検討してほしい。

- ・コンビニ収納やマイナンバーの兼ね合いの中で、町民の使い勝手の良い方法は何か考えているか。
- ・支所を福祉センターに置くということは検討したか。
- ・支所を保健センターに置くのが良いのではないか。
- ・マイナンバーカードを持っている人は何人いるか。
- ・マイナンバーカード町民取得率50%にならないと支所閉鎖は行わないのなら、説明会はもう少し普及率が上がってからでもよいのではないか。
- ・マイナンバーカード取得率50%超えないと閉鎖に繋がらないと言うことか。
- ・マイナンバーカード取得率50%はありえない。閉鎖できないのでは。
- ・マイナンバーカードの進捗率は。
- ・マイナンバーカードを取得すると、支所全体のことが賄えるのか。
- ・マイナンバーカードでの利用者証明用電子証明書発行というのがよくわからないので、次回説明してほしい。コンビニでのお金の収納は便利である。ただ、納付期限が過ぎたらコンビニでは受け付けてくれない。
- ・2021年3月からマイナンバーカードが健康保険証としても利用できるとのことだが、それによって利用率が増えるかは少し疑問である。
- ・18歳以上の住民50%以上がマイナンバーカードを取得しなければ行わないが、いずれは支所を閉鎖する必要があるとのことだが、行政スリム化の他の具体的な施策を行い、行政改革をお願いしたい。
- ・職員の意識改革、職員教育が重要である。
- ・役場職員の人件費、給料を将来に渡って減らしていく中で、職員の同意はどのように考えているか。
- ・財政的に厳しいなら庶民だけでなく公務員も痛みを。行政改革は続けなければならない。行政改革をしているようには思えない。
- ・町内の職場がなくなるから、町職員だけでも現状維持か増やす方向に持って行ってほしい。
- ・人件費削減でますます雇用がなくなる。働く場所も考えてほしい。
- ・役場（本所）もスリム化するのか。
- ・スリム化は受け入れなければいけないと感じた。その代わりにこの町が発展していく、若い人が大勢いるような町をつくってほしい。
- ・先に行政改革をしたらどうか。給料を減らす等やっているのか。町会議員を減らすとか。それから始めるべきである。
- ・人口は減っていくが、こういうことを行えば活性化されるというような話しを出していただきたい。
- ・行政改革がどのような方向に進んでいるか、部署の統合を進めている等の改革を出しながら説明会を行えば町の財政が厳しいことがわかると思うが、熱川支所だけがターゲットになっている。奈良本の生活に支所がなくなることは大変不便になる。転出も増えて

いる中、人口を増やそうという場合に逆行している。大川から稲取までほとんどが山を背にしている、大洪水や災害が発生した場合に本所や保健センターは活用できなくなる。奈良本公民館も川があり、洪水が発生した場合に避難所にならない。図書館・支所は災害時に避難もできるし、小学校の運動場もある。そういう場所を残さなければならない。支所をなくすことにより他所へ人口が流れる。まずは全体的な町の改革を行い、支所閉鎖の説明をしていただければ皆も違った考えを持つのでは。支所を出張所にして、例えば支所職員を2人にして図書館職員と職務を共有しながらやっていたらいい。

- ・熱川支所閉鎖の前に、削減できることが色々あるのではないかと。検討したことを実践した結果、最終的に熱川支所の閉鎖に至ったということになれば話しは違ってくると思う。今までどのような施策を行ってきたか、具体的にこの10年くらいこういうことを行ってきたとか、このように努力した、検討した等を住民に示していただきたい
- ・スリム化していかないと、いずれ町は破綻してしまう。スリム化することは賛成だが、各地区の説明会で高齢者の足の問題が出ているように、スリム化と同時にきめ細やかなサービスが求められていく。支所を閉鎖するなら、その前に公共交通の整備やコンビニではなく各地区に機械を置く等検討してほしい。
- ・人件費約2千万円の節減より他に減らすところはある。経費のことだけでなく、障害を持った方や弱者が安心して暮らせるか、利用数だけでなく、そういう所に目を向けるのが行政の在り方だと思う。他に減らすところはないのか。住民サービスのスリム化は最後に考えることである。
- ・H29. 3月策定の東伊豆町公共施設等総合計画管理計画に大川小学校の統合、アスト会館売却以外は具体的な削減案は載っていなかった。この計画の中では熱川支所は町立図書館に合わせ維持管理を行っていく、また併設している図書館は町の拠点施設であるので、適切な維持管理を行うとしている。一方で閉鎖、一方では適切な管理維持とは整合性が取れていないのではないかと。人口減少は進むと思われるが、そうならないような施策は必要である。
- ・人口が減少しているので、利用者が減るのは当たり前である。行政サービスは赤字であろうと平均して行わなければならない。コンビニが閉鎖したらどうするのか。
- ・人口減少のことを考えているのか。どうしたら子どもが帰ってくるか考えてほしい。
- ・支所跡地の利用は。
- ・支所がなくなった場合どうなるのか？
- ・熱川地区に何らかの形でスリム化してでも残してほしい。
- ・熱川地区の衰退についてどう考えているか。
- ・支所は熱川地区の中心。それが稲取に行ってしまう住民感情も考慮してほしい。
- ・支所閉鎖の決定はどのようになされるのか。
- ・閉鎖はこれまでの行政サービスが受けられるようになってからが良いのでは。また、マイナンバーカードのセキュリティはどうなっているか。
- ・幼稚園、小・中学校、図書館もあり、支所を閉鎖しては困るのでは。

- ・通信機器の使用期間等は考慮しているのか。
- ・支所が閉鎖されて本所が災害にあった場合、行政資料は大丈夫か。
- ・災害時の不安を取り除く話しをした方が良い。
- ・閉鎖ありきか。
- ・町民税をあげたらどうか。
- ・住民投票は行うか。
- ・町会議員は皆賛成か。
- ・2年先に閉鎖を決めようとしているのか。
- ・まずは意見を聞き、役場で協議して結論を出していくということにしないと。他地区の反応も聞きたい。閉鎖前提ではなく、極力残すように話しを進めてもらいたい。残す方が仕事である。
- ・残すことを前提とするような考えを徹底してほしい。
- ・閉鎖には反対する。
- ・どのような意見が出るかわからないので、なぜ他課の職員も連れてこないのか。
- ・熱川地区だけが犠牲になっているような地域感情があるので、その辺を十分納得できるように説明をしてほしい。